



## 株式会社 特発三協製作所

本社:兵庫県尼崎市下坂部3丁目6番1号  
 TEL:06-4960-4300  
 http://www.tokuhatsu-sankyo.co.jp  
 従業員数:50名  
 設立:1959年12月  
 主な事業内容:金属バネ製造:板バネ、皿バネ、  
 ウエーブワッシャーなどの金型製作・試作



### JOB INFORMATION

#### 正社員募集

『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を  
 見ての応募です』とお伝えください。



文理不問

2020年3月  
大学卒業見込

専門学校  
卒業生歓迎

面接重視

※2020年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2019年6月1日以降に選考解禁します。

#### 生産技術職 設計職

【内容】金属バネ等製品のプレスまたはマルチフォーミング加工による量産加工、製品の試作・開発(設計、加工、検査、納品)や部品加工、組立など  
 【応募資格】2020年3月大学・短大・高専・専門学校卒業見込みの方(全学部全学科、文理関係なし)  
 【給与】院卒、大卒200,600円、高専、専門、短大卒 180,600円 昇給 年1回、賞与 年2回。諸手当:役職手当、時間外手当、通勤手当、営業手当あり  
 【勤務地】本社(尼崎)  
 【勤務時間】8:00-17:00  
 【休日】完全週休2日制(土曜日、日曜日)、年間120日  
 【その他待遇】各種社会保険完備、退職金制度、新入社員研修、階層別研修、ばね検定など  
 【歓迎】経営理念に共感できる自ら考え、行動できる人、素直な人。特別なスキルや知識は必要ありません。  
 【連絡先】まずは一度お電話ください。  
 ☎06-4960-4300(担当:馬場)

片谷社長のていねいな説明に、くっつのめり込む河瀬さん。「工場の地味なイメージとまるで違うのに驚きました」

### 社員全員が活躍する 「薄板ばね」の トップランナー企業

創業60年。特発三協製作所は、自動車やパソコンなどの精密機械に欠かせない「薄板ばね」を製造する専門メーカーだ。業界屈指の高い技術力が評価され、国内外からの視察も殺到。「社員は頭脳」と考える片谷社長のもと、全社員が会社の理念や利益情報を共有し、働くモチベーションも高い。平均年齢36歳。活気ある、注目のものづくり企業だ。



るので、どちらとは言えませんが、アドバイスするとすれば、素の自分を見せることもポイントですよ。就活は恋愛と同じ。相性もあるので、取り繕ったところで長くは続かないからです。河瀬 あー、それよくわかります！片谷 当社の場合は、「素直」でものこを「柔軟に受け止められる」人を求めます。たとえ壁にぶつかっても「こうしたらどうだろう」とパッと切り替えて、前に進める人。働きながらでもぜひ学んでほしい姿勢です。河瀬さんがサッカーを12年やってきたのは大きいですよ。趣味でも何でもひとつのことにくっつくと打ち込んできた人は、他の分野でも理解が早いからです。河瀬 ありがとうございます。自分のままでいいと言われたよううれしいです。ところで社長さんは3代目と同じでしたが、決められたルールに乗る

のはイヤではなかったですか？片谷 私は長男ですが、継がなくてもよくて、就職も自由でした。先代に「この先どうする？」と聞かれたとき、初めて「経営をしたい」と思ったんです。社長なら金持ちになれるかと(笑)。実際は、社員の生活も会社の成長も全て背負う責任の重い仕事です。でもおかげさまで社員皆がやる気に満ちていて、チーム力で仕事を進めています。河瀬 工場には地味なイメージがありましたが、スペシャリストとして活き活きと働く姿に、印象がガラリと変わりました。皆さん、おしゃれでカッコイイのにもびっくりです。片谷 自分らしく働ける、きれいで整っている環境は、仕事のクオリティにも反映されると考えています。またご友人を誘って、いつでも視察にいらしてください。



教えてくれた人

かたや つとむ  
片谷 勉 さん(50)

特発三協製作所3代目。  
 大学卒業後、IT関連会社に3年間勤務。33歳から現職。若い人に期待するのは、答えをスマホに頼るのではなく、「自分で考える」こと。おすすめが読書だ。「他者の経験を疑似体験することで発想がうんと広がります。働く上でも人生においても、必ずあなたの役に立つはずですよ。」

話を聞いた人

かわせ あきら  
河瀬 旭 さん(20)

京都学園大学経済経営学部3年生。京都出身。小1から高3まで12年間サッカーに打ち込み、現在はフットサルを楽しむ。業種を問わず、一生働ける仕事を探している。「4人きょうだいなので、自分も早く結婚して家庭を持ちたいですね。仕事も慎重に選ぶつもりです。」

# 突撃！ 学生が

# 会社に

# 聞いてみた

あなたに代わって  
 就活スタート目前！の3回生が  
 仕事や就活について聞きます。



小さくても大きな働きをする「ばね」

河瀬 薄板ばねは「精密部品」と聞きました。実際はどんなものですか？

片谷 ばねには、機械の動きを「止める、押さえる、引っかけて保つ」機能があります。車の場合、エンジンとタイヤが変速機(トランスミッション)でつながっていますが、ここに「薄板ばね」が組み込まれ、機械の動きを制御しているのです。

河瀬 トランスミッションは、パソコンやエレベーター、ロボットなどの機器の動力変換装置のことですね。

片谷 はい。ばねの役割をわかりやすく例えると、ガソリンタンクの蓋の開け閉めの調節役と言えます。ばねがなければ蓋がプラプラ動いて、ガソリン注入時にこぼれたり、引火の恐れもありますね。ばねで蓋をきちんと押さえられるから、その心配がなくなるわけです。小さいけれど、大きな役割を担っているのです。

河瀬 すこいなあ。でも、なぜばねで止まるのですか？

片谷 摩擦の力の応用で、抵抗によって滑りや止まり具合を調節します。抵抗は、素材の種類やコンマ以下のわずかな厚さや重さの違いで大きく変化します。熱処理や溝の付け方、油分の有無など加工ひとつでも変わります。用途や要望によって形や角度も異なるため、当社で扱う2千種類のばねのうち、半分以上がオーダーメイドです。

河瀬 手間がかかるものなんですね。

片谷 そうです。手間を「面倒」と考えるかどうかで、道は分かれますね。一般にメーカーは「面倒くさい」仕事をやりたがりません。簡単なものを大量に作って売るほうが、ラクに儲かるからです。

河瀬 そうなんですか？  
 片谷 うちの逆に、顧客の欲しいものに耳を傾け、納得のいく製品を全力であげて作ることに勝負をかけています。手間がかかり、ラクではありませんが、本当に必要なとされるものを作り、相手の役に立てる仕事には誇りと喜びがある。そこに矜持を感じています。

河瀬 一見、同じような商品でも、使ってみると品質が全く違うのはなぜだろうと思っていました。そこはメーカーの考え方次第なんですね。  
 片谷 試作から金型製作、製品づくりまで一貫してできるのも当社の強みです。おもしろいことに、「レシピ」を真似ても、その通りにはできないのです。積み上げてきた勘や経験値がものを言うんです。他社が追従できないので、景気や安易な価格競争に巻き込まれない、安定経営体質の実現にもつながっています。

就活は、素のままの自分で勝負  
 河瀬 就活での自己アピールに悩みます。インターンシップ体験か、あるいは自分がやってきたスポーツや趣味について話すのと、どちらの印象がいいですか？  
 片谷 会社によって求める人材が異なるのはイヤではなかったですか？

片谷 私は長男ですが、継がなくてもよくて、就職も自由でした。先代に「この先どうする？」と聞かれたとき、初めて「経営をしたい」と思ったんです。社長なら金持ちになれるかと(笑)。実際は、社員の生活も会社の成長も全て背負う責任の重い仕事です。でもおかげさまで社員皆がやる気に満ちていて、チーム力で仕事を進めています。河瀬 工場には地味なイメージがありましたが、スペシャリストとして活き活きと働く姿に、印象がガラリと変わりました。皆さん、おしゃれでカッコイイのにもびっくりです。片谷 自分らしく働ける、きれいで整っている環境は、仕事のクオリティにも反映されると考えています。またご友人を誘って、いつでも視察にいらしてください。